

第36回早慶定期戦結果

三種目全敗で敗戦 通算9勝17敗

第三十六回早慶定期戦は十二月四日、日吉記念館で行われた。第一種目のフルールを落とした早大はエペで奮起、一時は5勝2敗とリード。久々の勝利成るかと思われたのですが、後半慶応の反撃を許して追いつかれ、結局逆転負け。すっかり気落ちし、お家芸のサークルも取られて三種目全敗の敗戦という結果になりました。通算成績は早大の17勝17敗。

●早大 0-3 慶大 ○
▽フルール 5-11

○安東	3-5	関口	●
○帆刈	5-1	浅井	○
○寺田	5-0	加藤	○
○石坂	5-2	渡辺	○
○安東	5-2	浅井	○
○寺田	5-2	関口	○
○帆刈	5-0	渡辺	○
○石坂	5-1	加藤	○
○安東	3-5	渡辺	○
○内田	3-5	市橋	●
○帆刈	2-5	加藤	●
○寺田	5-1	渡辺	○
○内田	5-1	浅井	○
○寺田	5-1	渡辺	○
○帆刈	5-1	加藤	○
○安東	5-1	市橋	●
○帆刈	3-5	加藤	○

▽エペ	7-9	浅井	○
○寺田	5-4	関口	○
○福田	4-5	小川	○
○安東	3-5	竹内	○
○黒田	3-5	関口	○
○寺田	1-5	浅井	○
○安東	5-3	小川	○
○福田	5-3	加藤	○
○安東	5-4	関口	○
○黒田	5-4	竹内	○
○福田	2-5	小川	○
○安東	5-4	関口	○
○寺田	2-5	加藤	○
○黒田	5-3	浅井	○
○福田	5-3	小川	○
○安東	4-5	加藤	○
○黒田	5-2	関口	○
○寺田	5-5	小川	○
○福田	5-3	浅井	○

▽サーブル	8-8	(被突数の差で慶大の勝ち)	
○石坂	5-1	市橋	○
○帆刈	5-3	大橋	○
○安東	3-5	小林	○
○寺田	3-5	渡辺	○
○石坂	5-3	大橋	○
○安東	5-3	市橋	○
○帆刈	3-5	渡辺	○
○寺田	4-5	小林	○
○安東	5-1	大橋	○
○石坂	5-0	渡辺	○
○寺田	0-5	市橋	○
○帆刈	5-1	加藤	○
○安東	3-5	渡辺	○

○寺田	1-5	大橋	○
○石坂	5-1	加藤	○
○帆刈	4-5	市橋	○
(OB戦)			
早大OB	2-1	慶大OB	
▽フルール	3-0		
○春日	0-5	小倉教	○
○遠藤	0-5	白井	○
○宮	1-5	車	○
▽エペ	1-2		
○野田	5-3	小倉達	○
○富山	5-4	板橋	○
○遠藤	1-5	塚本	○
▽サーブル	2-1		
○春日	1-5	平野	○
○杉本	5-4	小関	○
○宮	0-5	小倉教	○

(新人戦)			
早大	1-3	慶大	
○内田	1-5	竹村	○
○楠	5-2		○
○毛利	5-3		○
○三河	5-0		○
(女子戦)			
早大	0-2	慶大	
○三牧	5-3	田内	○
○	5-1	日高	○
(高校戦)			
早稲田	2-3	慶応	
○竹本	5-4	荒川	○
○木村	4-5	鯉淵	○
○落合	3-5	工藤	○
○大藤	5-4	石引	○
○富田	5-1	堀江	○

初兄弟対決は学院に凱歌。早慶定期戦の高校戦出場権をかけた学院一本庄学院の試合が十月二十三日、早大体育館道場で行われた。試合は、初戦の学院落合が4-2の劣勢を挽回して逆転勝ちし、学院が一気に波に乗り、弟分本庄を一蹴する一方的な結果となった。

(関東学生選手権大会)					
▽エペ個人決勝					
(寺田の戦績)					
○寺田	5-3	鈴木慶樹	○		
○寺田	5-3	金田雅昭	○		
○寺田	5-1	山口浩	○		
○寺田	3-5	土谷雅宏	○		
○寺田	5-5	斉藤人志	○		
○寺田	5-5	鈴木	○		
○寺田	5-5	村上幸生	○		
▽順位					
①鈴木	5勝②山口	3勝③金田	3勝④寺田	3勝⑤寺田	1勝

(全日本大学選手権大会)					
▽エペ個人決勝					
(寺田の戦績)					
○寺田	5-5	柴田知彦	○		
○寺田	4-5	土谷	○		
○寺田	4-5	伊藤	○		
○寺田	4-5	鈴木	○		
○寺田	5-5	村上幸生	○		
▽順位					
①村上	4勝②寺田	1勝③柴田	4勝④土谷	1勝⑤鈴木	4勝

学院	7-2	本庄学院	
○落合	4-5	大藤	○
○木村	2-5	藤牧	○
○富田	3-5	小川	○
○木村	5-3	大藤	○
○富田	0-5	藤牧	○
○落合	1-5	小川	○
○富田	5-2	大藤	○
○落合	0-5	藤牧	○
○浦田	0-5	尾籠	○

特別選抜入学で大垣南以鈴村元宏君獲得

昭和59年2月1日発行
編集者 早稲田大学稲光会
発行所 北原輝久
題字 滝口
印刷 進進
第8巻第11号

稲光会報

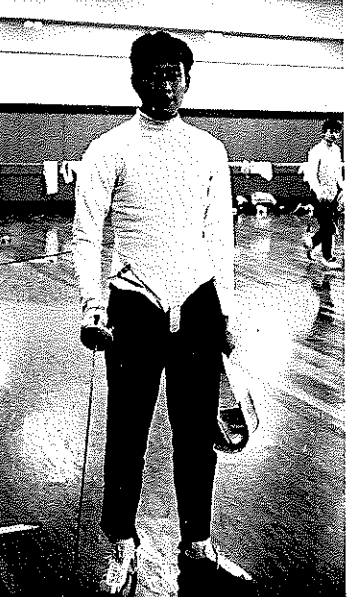
1ページ…超大型新人入部
2,3ページ…稲光会恒例、滝口杯争奪戦
4ページ…現役だより

久々に超大型新人が入部!

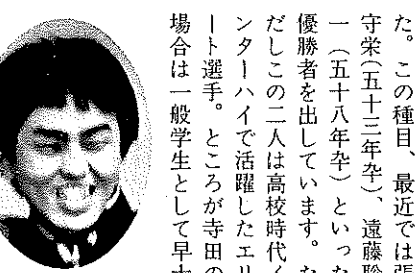
春の全国選抜優勝
夏のインターハイ準優勝

特別選抜入学で、わが部は超大型新人を獲得しました。岐阜県立大垣南高校の鈴村元宏君で、同君は春の全国選抜大会で優勝、夏のインターハイ準優勝という高校フェンシング界のトップクラス。学業も優秀で、見事特別選抜の選考をパスし、早々と入学を決めたものです。

特別選抜入学制度は昨五十七年にスタート。十六人の入学ワケが設けられましたが、わが部への希望者はありませんでした。二年目の今年、鈴村君が「フェンシングを続け、将来は体育の教師となって母校で後進を育てたい」というはっきりとした希望を持ち、法大、中大、中京大等の勧誘に目を向けず早大を志望したものです。今年度は入学ワケを三十二人(別表参照)と、昨年の倍に広げたことも幸



期待される鈴村君



寺田副将

今年度は副将寺田洋(政経三年)山口県立柳井高校出身の活躍が光っています。秋の関東学生選手権エペ個人で五位、全日学生では同種目に三位と、不振早稲田にあって孤軍奮闘の働き、大いに母校の名を高めました。この種目、最近では張守栄(五十二年卒)、遠藤聡一(五十八年卒)といった優勝者を出しています。ただしこの二人は高校時代インターハイで活躍したエリート選手。ところが寺田の場合一般学生として早大

を受験し、入学後入部したものです。そして三年後に二大会で決勝プールに進出したので、その健闘は大いにたたえてやってよいと思います。(試合の詳細は四面参照)

★寺田選手の話 決勝リーグでは、初戦で引分け、続いて3連勝し波に乗りました。最終戦で、優勝した村上選手と8-8から9-9までいったのですが、最後に一本取られ負けてしまいました。この試合に勝てば、柴田選手とパラージ(優勝決定戦)で優勝の可能性もあったので非常に残念です。インカレの経験を生かし、来年は一部復帰をめざして

1勝4敗⑥伊藤1勝4敗
〔注〕5-5で×印は、タイムアップのため両者負け扱い。同じく5-5で○と●とあるのは、5-5から一本勝負になり、実際には6-5で勝負がついているケース。

学院 VS 本庄学院 初の兄弟対決

58年度

稲光会恒例
10月10日

懇親パーティー

スナップPHOTO

和気あいあいのうちに 滝口杯争奪紅白戦 オークション etc.



▲亭主は飲み気、妻君は食い気
いつも楽しい森居夫妻です

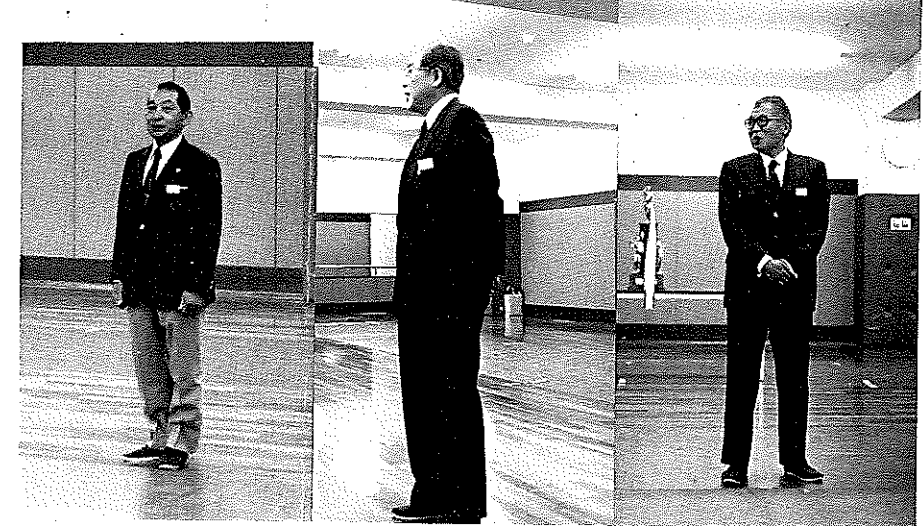


▲父と子の束の間の語らい(さて
おトーさんはだれでしょう?)



▲滝口先生はお孫さん同伴、顔
が崩れっぱなしでした

稲光会恒例の十月十日パーティーは、五十八年度も母校フェンシング道場で盛大に行われました。OBによる滝口杯争奪紅白戦、懇親パーティー、オークションと例年通り和気あいあいのうちに楽しい一日を過ごしました。今回出席されなかった方々、来年、あるいは再来年の十月十日に、ぜひどうぞおい出ください。



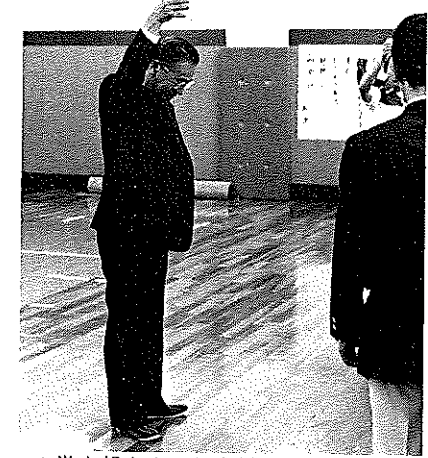
▲あいさつに立つ(右から)滝口名誉会長、戸谷部長、金子会長



◀ 現役も大いに楽しみました



▲オークションを見守る会員たち



▶ おもちゃのオークションに会員ジュニアたちが勢ぞろい
◀ 「乾杯!」—この役にはこの人をおいて他にいないという佐藤武さん



▲栄太郎さんこと中村副会長も
元気な姿を見せてくれました



▲北原幹事長(中央)が司会するオークション
この人の司会役はきわめつきです



▲若手OBも久々に顔合わせ(右から富山、春日、内田、横須賀の諸会員)



◀ 金子さん、堀さん、成瀬さん
そして吉田さん...懐かしい顔が
そろいました